

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいランドクラブ		
○保護者評価実施期間	2025/1/10		2025/1/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025/1/10		2025/1/31
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025/2/12		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	柔軟な利用児童対応と受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜相談（電話・SNS・直接）にのる体制をとっている。 ・軸となる部分はしっかりと意識し、職員がそれぞれの役割で、1人の子どもに対応している。 ・学校へ行く事が難しい児童への臨機応変な対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの活用 ・話し合う機会を多く持つ ・役割分担の徹底
2	柔軟な保護者対応	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜相談（電話・SNS・直接）にのる体制をとっている。 ・他機関との連携等のサポートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他機関、他事業所との連携を深める
3	「楽しかった」と笑顔でいられる居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・「楽しい」と感じられる活動内容にしている。 ・人とのやりとりで自然に笑顔になれるよう、支援する大人が笑顔と笑いを絶やさないう心がけている。 ・地域活動へ参加し「ありがとう」と言ってもらえる機会を作り「今の自分が社会にできる事」で活躍する機会をつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の方と関わる機会をより多く持つ。 ・子どもたちから「したいこと」「いきたい場所」等をより聞き出せるよう努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎範囲の狭さ。送迎できる学校の限定化。	<ul style="list-style-type: none"> ・車両不足 ・ドライバー不足 ・下校時間が重複する為、限定された学校の送迎しかいく事ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所だけでなく、放課後デイサービスの送迎問題の解決が必要。
2	同世代との交流が中心	利用されている方にとって、弱みとも強みともとれるが、自立に向けて中高生をみの受け入れとしている為、世代間交流が難しい	同法人小学部の事業所や地域子ども食堂でのボランティアを通して、関わる機会を多く持つように努めている。
3	きょうだい児への支援不足	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい児への支援が行き届いていない。 ・未っ子が多い為、お兄さん・お姉さんへの目配り心配りが不足していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時等で会話をしている時間を持つよう努める。 ・相談しやすい環境づくりに努める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	あいランドクラブ
------	----------

公表日 年月日 2025.2.22

利用児童数 19名

回収数 19名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19				記載なし 引き続き、スペースの確保に努めます	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17		2	職員配置などは学校同様、含め分かっていません	契約時の説明を徹底します。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			記載なし	引き続き、分かりやすい環境づくりに努めます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			記載なし	引き続き、サービス提供前後の清掃を徹底します。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19			記載なし	引き続き、ひとりひとりの子どもに合わせた支援を提供します。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			記載なし	引き続き、支援内容に合わせたプログラムを作成します。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19			記載なし	引き続き、個別支援計画の作成にも力を入れていきます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			記載なし	引き続き、具体的な支援内容を設定します。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19			記載なし	引き続き、計画に沿った支援の提供を行います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19			記載なし	引き続き、プログラムの工夫を行います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10		1	8	・毎年ですが、この質問の意図を理解できません。 ・必要ないと思います。 ・健常児さんとの交流は難しいと思います ・必要性を感じていません。	保護者の方のご意見を踏まえ、事業所として必要か等判断します。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19				記載なし	引き続き、丁寧な説明を行います。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19				記載なし	引き続き、計画を示しながら、支援内容の説明を行います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1			・案内をよく送ってくださいます。 ・必要性を感じません	必要性を感じておられる方に対して、案内などを徹底します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていていると思いますか。	19				記載なし	引き続き、保護者の方との連携に努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19				記載なし	引き続き一緒に考え一貫した支援ができるよう努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				記載なし	引き続き、共感的に支援ができるよう徹底します。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	1			・ママカフェ等の交流会の機会はありますが、兄弟時さんについては分かりません ・毎月開催していただき有難いです。	兄弟児さんへの支援の方法を前向きに検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19				記載なし	引き続き、相談や申し入れには適宜対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19				記載なし	引き続き、取り組みます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19				記載なし	引き続き、受け取る側も楽しめる内容作成に努めます。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19				記載なし	引き続き、鍵の付いた棚での保管などを徹底します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19				記載なし	引き続き「もしも」に備えた準備を行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19				記載なし	引き続き、定期的な訓練を実施します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19				記載なし	引き続き安全第一で支援します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			1	・他害の時もすぐにお知らせ頂けました ・すごく細かく状況を教えてくださいました。 ・事故も怪我もないので分かりません	引き続き、速やかな対応を心がけます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19				・良くして頂いています ・唯一通える場所です	引き続き安心して通って頂けるよう努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19				・とても楽しみにしています。ありがとうございます。	引き続き楽しみに通えるよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				・大満足です。	引き続き保護者の方にも「あいランドクラブに通わせて良かった」と満足して頂けるようサービスの提供に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025/2/22				
あいランドクラブ						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	班別行動などを取り入れて、部屋を広く使えるよう工夫している。	・身体が大きい中高生のみなので仕方ないと思う
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	法令を遵守した職員配置ではあるが、利用する子どもの状況に合わせて職員を増やす等は適宜実施している。	・適切ではあるが、多めにスタッフを配置したいときもあるが人件費等の兼ね合いで難しい現状。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	3	視覚的な支援を導入している。	・建物の構造上限界はある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	粘着式テープなどを用いて清潔を保つようにしている。	・埋め込み式絨毯の為、掃除がしにくい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	リラックススペースを準備している。	死角になるので注意が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	職員間でコミュニケーションをとる機会を多く持っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	いつでも話しやすい雰囲気づくりに努める。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	LINE等のツールを用いて、適宜意見を出せる環境づくりに努める。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10		現在、第三者委員会による評価は実施できていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	案内などを随時配布している。	同じような研修内容が多い。もっと事例検討などの研修があると嬉しい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	引き続き徹底する。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	それぞれの視点から様々な意見を出し合って作成する。	子どもと保護者のニーズがかけ離れている時の対応と落としどころの付け方。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	それぞれの視点から様々な意見を出し合って作成する。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	共有の徹底を行う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	具体的で分かりやすいフォーマットを使用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	よく考え内容を設定している。	あまりにも細かくなったことで、本当に必要な事だけの支援が難しくなった。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	常勤職員で行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	あえて慣れるために固定化させることもある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	状況を見て、適宜組み合わせを変えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	送迎などでできない時もあるが、できる限り集まって申し送りをするようにしている。	送迎等があるとスムーズな打ち合わせができない。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	送迎などで難しい場合もあるが、できる限りその日のうちに共有することを心がけている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	記録をパソコン入力に変更し、より記録をしっかりと残せるよう工夫した。	手書き記入の方がよかったと思っている職員もいる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	定期的に計画内容の確認を実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10	0	意識している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	「選ぶ」機会を多く持つようになっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	積極的に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	積極的に連携を取っている。	学校と連携を取る為の時間調整が難しい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	保護者に間に入ってもらうようになっている。	保護者が間に入って連絡をするシステムが出来上がっている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	10	小学生の受け入れをしていない為該当しない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0	就労先の方と、地域の会議でお会いした際に積極的にお話をしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	10	児童発達支援センターに通う児童がいない為、該当しない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	0	子ども食堂を通して、活動する時間を設けている。	児童館などは対象となる年齢が違う為、必要とは思わない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	0	引き続き参加する。	
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	LINEや電話等で適宜状況を伝えあっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	中高生の保護者が必要と感じるプログラムを考えていく。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	引き続き行方。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	子どもに直接訪ねる機会を持っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	引き続き行方。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	事業所内では解決しない場合は、協力医などにも相談している。	支援時間は相談の電話対応はできない事を伝える必要がある。
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	10	0	毎月保護者会を実施している。	父親も参加しやすい環境づくりを行う。	
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	迅速な対応を心がけている。		
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	見ている側が楽しめるよう発信している。	個人が特定されないよう発信している。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	鍵付きの棚で保管している。	戸外で大きな声で名前を呼ばないよう配慮する。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	できるだけ納得いくまで話して頂けるよう時間配分をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	0	地域清掃などで地域の方と関わる機会をもっている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	定期的に見直しを行う。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	継続して定期的な訓練を実施する。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	確認し、情報共有を徹底している。	預かっているお薬の期限切れに注意する。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	実施している。	アレルギーについては、新年度確認を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	最悪の場合などを想定して、様々なプランを立てている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	家族への周知を徹底している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	いつでも確認できるよう、分かりやすく保管している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	動画や事例検討など視覚的にも分かりやすい研修を心がけている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	職員間、保護者で共通理解を徹底している。	